

5. 災害調査 新潟県長岡市岩田地区雪崩現地調査 (2012.2.15)

研究代表者	雪氷防災：上石 勲	実施期間	平成 23 年度
研究参加者	雪氷防災：佐藤 威、安達 聖		

[目 的]

2012年2月15日午後、新潟県長岡市岩田地区で雪崩が発生し県道を埋設した。積雪や雪崩発生状況を現地調査によって把握し、今後の雪崩対策などに資することとした。

[実施内容]

新潟県長岡地域整備部維持管理課職員との現地調査を行った。

調査実施日：2012年2月15日

調査箇所：新潟県長岡市岩田地区（図1）

[成果と効果]

調査により雪崩発生状況や積雪状況などについて把握した。

- ・雪崩発生日時：2012年2月15日 15：10
- ・雪崩種類：面発生湿雪全層雪崩
- ・雪崩規模：長さ約30m、幅約10m
- ・発生面での傾斜：約45度
- ・雪崩発生状況

県道脇の斜面から湿雪全層雪崩が発生し道路を幅10mにわたって埋めた。その後、除雪により路面を確保したが、上部斜面に一部不安定な積雪が残っているため、道路を一時通行止めとした（図2）。

・積雪状況

近隣斜面での観測を実施した。積雪深は218cmで、ざらめ雪としまり雪が互層で、全層の雪温が0℃と濡れた状態であった。この斜面は中越地震やその後の大雨、大雪によって斜面崩壊が発生していた箇所であり、雪崩も発生しやすい地形、植生条件のため、全層ざらめ化する前に雪崩が発生したものと推定された（図3）。シアーフレームを用いて測定した積雪底面と地面との剪断剥離強度は1.75kN/m²であり、積雪荷重の斜面分力との比較から求めた積雪安定度（SI）は0.46となった。

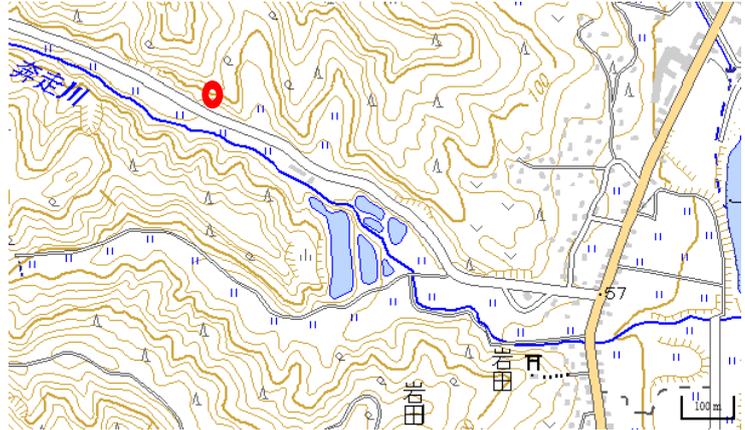


図1 雪崩発生箇所



図2 雪崩発生状況（長岡市岩田地区 2012年2月15日）

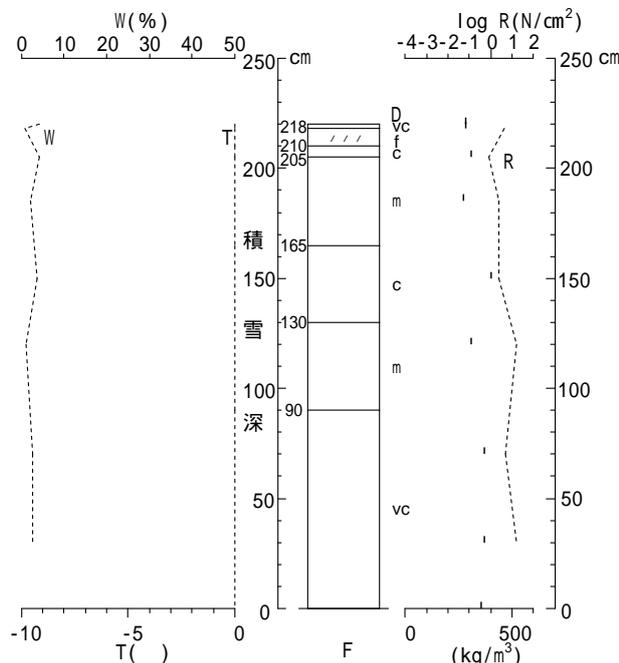


図3 積雪状況(長岡市岩田地区 2012年2月15日)

[行政機関等への貢献]

雪崩発生状況については新潟県長岡地域整備部からの情報を頂いた。今回の現地調査を同時に行い、今後の対策についてのアドバイスをを行った。